

【道路建設課所管 再評価審議資料】

○再評価対象箇所一覧表	・・・p. 1
○再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について	・・・p. 2
○再評価実施箇所（附図）	・・・p. 3
○説明資料（パワーポイント）	
・公共事業再評価について	・・・p. 5
1) 道路改築事業（交付金事業分） 「(国) 248号 光ヶ丘工区」	・・・p. 6
2) 道路改築事業（交付金事業分） 「(主) 白川福岡線 黒川工区」	・・・p. 13



令和6年度 再評価対象箇所一覧表 8月29日審議箇所

〔国土整備部 道路建設課〕

番号	事業名	路線・地区 ・河川名等	実施箇所 (市町村名)	採択 年度	完了 予定 年度	事業概要			全体事業費 (百万円)			実施済み額 (百万円)			進捗率 (%)			経過年数 (R6.3現在)	政策との 位置付け	関連事業の 進捗状況	社会経済情勢 等の変化及び 地元の意向	環境との調 和への配慮 事項	事業費削減	費用対効果 分析	対応方針 (案)	特記事項
						全体事業量 (km)	実施済事業量 (km)	事業 実施率	用地補償費	工事費等	用地補償費	工事費等	用地補償費	工事費等	用地補償費	工事費等										
1	道路改良事業 (交付金事業 分)	(国)248号 光ヶ丘工区	多治見市	H28	R14	0.52	0.00	0.0%	1,858 531 1,327	1,061 472 589	57.0% 89.0% 44.0%	8	・法務省による 円滑な交通の確保 ・災害時に有効に 機能するネット ワークの確保	-	・周辺開発の進 展 ・事業継続、早 期完成を要望	環境負荷低 減	路床工の工 法変更	1.3 (1.2)	継続	前回 評価 H27 事業費増 のため						
2	道路改良事業 (交付金事業 分)	(主)白川福岡線 黒川工区	白川町	H14	R15	1.64	0.00	0.0%	1,982 196 1,786	1,431 196 1,235	72.0% 100.0% 69.0%	22	・災害時に有効に 機能するネット ワークの確保 ・隘路・線形不良 箇所の解消による 円滑な交通の確 保	-	・周辺地蔵工 シヨンの策定 ・事業継続、早 期完成を要望	環境負荷低 減	現場養生土 の有効活用	1.2 (1.2)	継続	前回 再評価 R1						

費用対効果分析:( )は前回再評価時の投資効果率

令和 6 年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 道路建設課

○事業制度について	事業名	道路改築事業	
	事業目的	地方公共団体等が行う社会資本の整備その他の取組を支援することにより、交通の安全の確保とその円滑化、経済基盤の強化、生活環境の保全、都市環境の改善及び国土の保全と開発並びに住生活の安定の確保及び向上を図ること。	
	採択基準	地域住民の日常生活の安全性若しくは利便性の向上を図るために必要であり、又は快適な生活環境の確保若しくは地域の活力の創造に資すると認められるもの。	
	概要 (メニュー)	現道の拡幅や線形改良またはバイパス等の建設	
○費用対効果の分析について	効果の項目	うち貨幣換算する項目 ≧B ≦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 走行時間短縮便益</li> <li>・ 走行経費減少便益</li> <li>・ 交通事故減少便益</li> </ul>
		その他項目	
*費用便益	費用 ≧C ≦ の算定	費用の積み上げ基準＝道路整備に要する事業費＋道路維持管理に要する事業費＋道路構造物の更新に要する事業費* 現在価値算出のための社会的割引率：4%（参考値として2%及び1%を記載） 基準年次：評価時点 検討年数：50年間 ※道路構造物の更新に要する事業費は、評価対象期間末までに耐用年数等に達する構造物がある場合に計上する	
	B/C * 費用便益比の基準	原則費用便益比（B/C）1.0以上	

# 令和6年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔道路建設課〕

番号	2	事業名 (路線・河川名等)	道路改築事業 一般国道248号 光ヶ丘工区
事業実施箇所	たじみしひかりがおか 多治見市光ヶ丘地内		事業主体 岐阜県
採択年度	平成28年度	完了予定年度	令和14年度
再評価の実施基準	社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により、再評価の実施の必要があると判断をした事業		
事業目的	一般国道248号は、愛知県蒲郡市から岐阜県岐阜市に至る延長約112kmの主要幹線国道であり、産業や物流を支える重要な道路である。当該事業はこのうち多治見市光ヶ丘地内の521mを整備するものであり、渋滞緩和による円滑な交通の確保及び災害時に有効に機能するネットワーク確保を目的としている。		
事業概要	事業延長：521m 車道幅員：3.25m×4車線、3.00m×2車線 歩道幅員：3.00m（両側）		
概要図			

# 令和6年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔道路建設課〕

番号	3	事業名 (路線・河川名等)	道路改築事業 主要地方道白川福岡線 黒川工区
事業実施箇所	かもぐんしらかわちょうくろかわ 加茂郡白川町黒川地内		事業主体 岐阜県
採択年度	平成14年度	完了予定年度	令和15年度
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間が経過した時点で継続中の事業（経過措置）		
事業目的	<p>主要地方道白川福岡線は、岐阜県加茂郡白川町を起点とし、岐阜県中津川市に至る延長約30kmの路線で、第二次緊急輸送道路に指定される重要な路線である。当該事業はこのうち白川町黒川地区の約1,640mのバイパスを整備するもので、災害時に有効に機能するネットワークの確保及び隘路・線形不良箇所の解消による円滑な交通の確保を目的としている。</p>		
事業概要	<p>事業延長：1,640m 車道幅員：3.00m×2車線、歩道幅員：2.50m（片側）                  主要構造物：（仮称）黒川1号橋L=55m、（仮称）黒川2号橋L=47m</p>		
概要図	<p>至 東白川村神土</p> <p>主要地方道白川福岡線 黒川工区 L=1,640m</p> <p>美濃東部広域農道 黒川東白川トンネル・黒川側入口</p> <p>写真①</p> <p>起点 加茂郡白川町</p> <p>終点 加茂郡白川町</p> <p>（仮称）黒川2号橋 L=47m</p> <p>（仮称）黒川1号橋 L=55m</p> <p>一級河川黒川</p> <p>至 白川町河岐</p> <p>■ 事業区間 ■ 主要地方道 ■ 農道</p> <p>(C)岐阜県</p> <p>位置図</p> <p>富山県 石川県 福井県 岐阜県 滋賀県 大垣市 愛知県 三重県 高山市 長野県 美濃加茂市 中津川市 多治見市</p>		

# 令和6年度 公共事業再評価について (道路改築事業)

令和6年8月29日

岐阜県 県土整備部 道路建設課



## 道路改築事業の整備方針

### 考え方

岐阜県では、平成18年度に策定した「県土整備ビジョン」を踏まえつつ、「**活力**」、「**安心・安全**」を**重点目標**とし、道路整備に取り組んでいます。

### 重点目標

#### 活力

#### ●物流・観光、地域経済の持続的発展の基礎となる道路整備

- ・ 主要骨格幹線ネットワークの整備推進
- ・ 渋滞緩和による円滑な交通の確保
- ・ 観光交流や産業振興の推進
- ・ 高速道路やリニア中央新幹線岐阜県駅へのアクセス向上

#### 安全・安心

#### ●災害に強い県土づくりの根幹となる道路整備 ●地域の生活を支え、人に優しい安全で快適なまちづくりを支える道路整備

- ・ 災害時に有効に機能するネットワーク確保
- ・ 緊急輸送道路や孤立集落・雨量規制区間を解消する道路の整備
- ・ 隘路・線形不良箇所を解消による円滑な交通の確保



## 位置図 ②



写真① (国)248号 渋滞状況

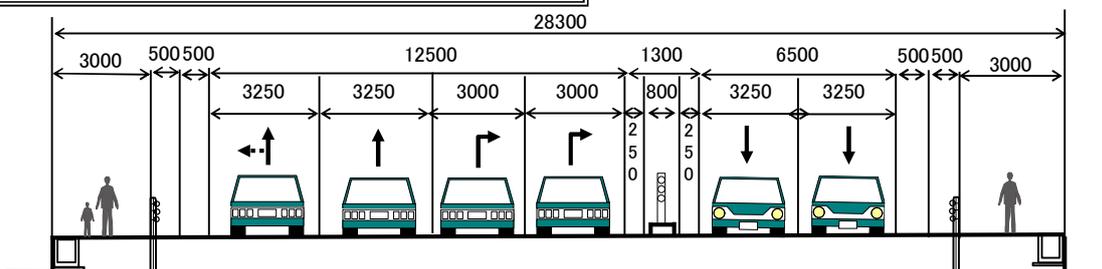
2

## 事業概要

- ◆ 起 点 : 多治見市若松町4丁目  
たじみしわかまつちょう
- ◆ 終 点 : 多治見市光ヶ丘1丁目  
たじみしひかりがおか
- ◆ 全体延長 : 521m
- ◆ 総事業費 : 約18.6億円
- ◆ 事業着手 : 平成28年度
- ◆ 完成予定 : 令和14年度
- ◆ 幅 員 : 28.300m
- ◆ 道路規格 : 第4種1級

(直進車線)  
3.25 × 4車線 (+1車線)  
(右折車線)  
3.00 × 2車線 (+1車線)  
(自転車歩行者道)  
3.00m 両側

標準横断図 (交差点部) ※東側を望む



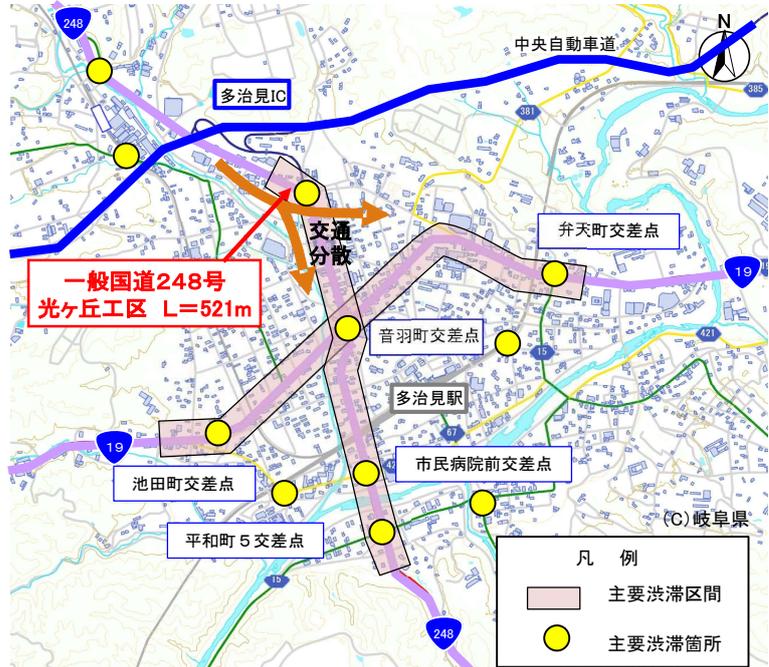
3

# 事業の目的 ①

活力: 渋滞緩和による円滑な交通の確保

■ 車線増加による渋滞の緩和（東進直線車線、東進右折車線の2車線化）

【現況写真】



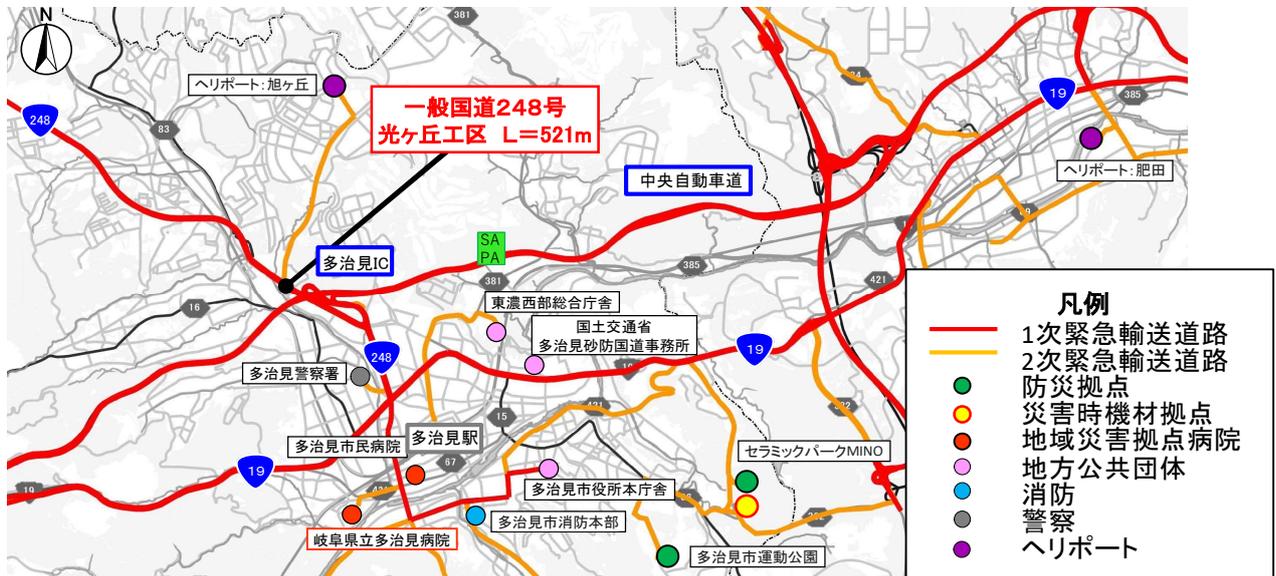
出典：岐阜県内主要渋滞箇所一覧図（令和5年8月4日時点）

4

# 事業の目的 ②

安全・安心: 災害時に有効に機能するネットワークの確保

- 一般国道248号光ヶ丘工区は第1次緊急輸送道路
- 東濃地区で唯一の第三次救急医療機関である、岐阜県立多治見病院へのアクセスの確保
- 周辺には防災拠点等があり、当工区の整備により災害時のネットワークを確保



出典：岐阜県緊急輸送道路ネットワーク図（令和6年2月時点）

5



## 事業の施行状況

写真① 工事案内



写真② 横断歩道橋の上部工製作・架設工事



交差点北西側の横断歩道橋の  
上部工製作・架設工事を実施中

8

## 環境への配慮

### ◆ LED照明の採用による環境への配慮

- 長寿命かつ低消費電力であるLED照明を交差点部の新設照明灯に採用し、蛍光ランプを用いた場合に比べ環境負荷を低減



9

## 費用対効果分析

### 事業の効果

- 走行時間短縮便益 …… 効果全体の約 98%
- 走行経費減少便益 …… 効果全体の約 1%
- 交通事故減少便益 …… 効果全体の約 1%

### 投資的效果率

$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 1.3$$

※費用便益分析マニュアル（国土交通省R5.12）に基づき算出

10

## 今後の方針（案）

○一般国道248号光ヶ丘整備は、渋滞緩和による円滑な交通の確保、災害時に有効に機能するネットワークの確保に大きく寄与する。

○地元住民及び関係市町から事業の継続、早期完成の要望がある。



**＝事業継続＝**

11

**令和6年度第3回  
岐阜県事業評価監視委員会  
費用対効果分析資料**

■事業名

道路改築事業 一般国道248号 光ヶ丘工区

■事業内容

延長：L=0.52km、計画幅員：W=19.00(28.30)m

■費用対効果分析結果

区分		【参考】新規事業採択時 (基準年：H27)	今回 (基準年：R6)	備考
事業期間		H28～R2	H28～R14	
費用 (億円)	事業費	8.0	17.4	
	維持管理費	0.1	0.1	
	合計 (C)	8.1	17.5	
効果 (億円)	走行時間短縮便益	9.4	22.8	
	走行経費減少便益	0.0	0.2	
	交通事故減少便益	0.0	0.1	
	合計 (B)	9.4	23.1	
費用対効果分析結果 (B/C)		1.2	1.3	

※上記の事業費は、国のマニュアルに基づき社会的割引率を用いて現在価値に換算しているため、実際の事業費と異なる。

■費用対効果分析の分析方法

・費用便益分析マニュアル／国土交通省 道路局 都市局/R5.12

■費用対効果分析結果の要因変化

【費用の主な変化要因】

- ・工事経費率の上昇に伴う増額や労務費・資材費の高騰により事業費が増加した。【3.9億円】
- ・評価基準年の更新により、現在価値化した事業費が増加した。【0.3億円】
- ・用地補償費の精査により、事業費が増加した。【1.5億円】
- ・関係機関との協議に基づき、安全対策費が増加した。【3億円】

【便益の主な変化要因】

- ・使用ODの変更や便益算定エリア拡大に伴い便益が増加した。【14.7億円】
- ・費用便益分析マニュアルの改訂 (R5年12月) による、時間価値原単位、走行経費原単位、交通事故損失額算定式の変更に伴い便益が増加した。【1億円】
- ・評価基準年の更新により、現在価値化した便益が増加した。【3億円】
- ・事業期間が延長されたことに伴い便益が減少した。【▲5億円】

【費用対効果分析結果の変化】

- ・費用対効果分析結果は、新規事業採択時の1.2から1.3に増加し、費用便益比は1を上回っており、十分な事業効果が確保される見通しである。

# 事業再評価 道路改築事業

## 主要地方道<sup>しらかわふくおか</sup>白川福岡線 (<sup>くろかわ</sup>黒川工区)

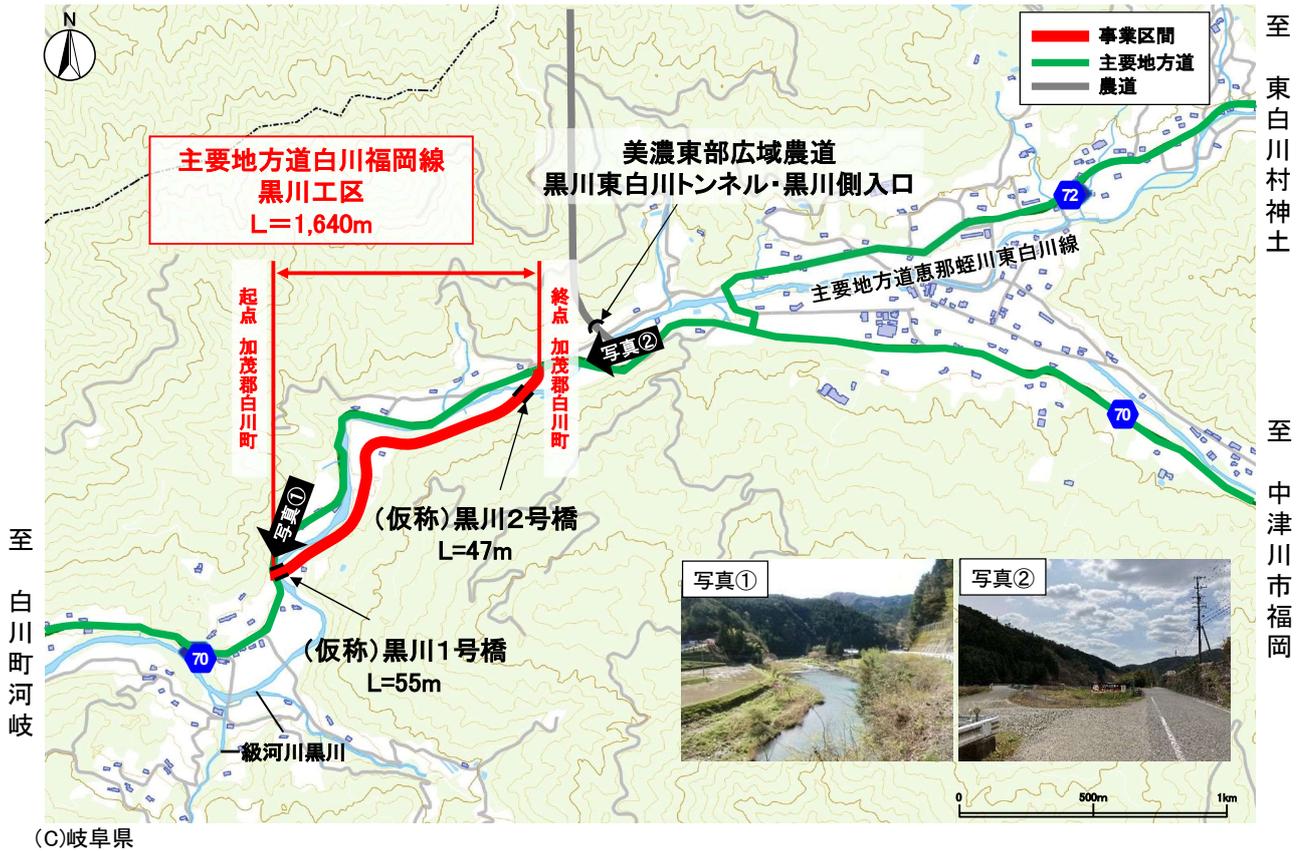
県土整備部 道路建設課  
令和6年8月29日



### 位置図 1



# 位置図 2

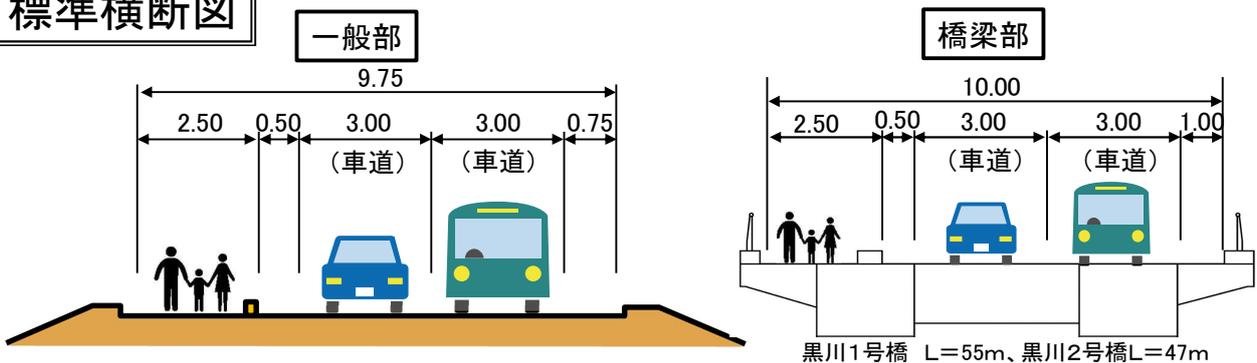


2

## 事業概要

- かも ぐん しらかわ ちょう
- ◆ 起 終 点 : 加茂郡白川町地内
  - ◆ 全体延長 : 1, 6 4 0 m (橋梁延長 L = 5 5 m、4 7 m)
  - ◆ 総事業費 : 約 2 0 億円
  - ◆ 事業着手 : 平成 1 4 年度
  - ◆ 完成予定 : 令和 1 5 年度
  - ◆ 道路規格 : 第 3 種 第 3 級
  - ◆ 幅 員 : 車道 3. 0 0 m × 2 車線  
: 歩道 2. 5 0 m (片側)

### 標準横断図



# 事業の目的①

安全・安心：災害時に有効に機能するネットワークの確保

- 主要地方道白川福岡線は第2次緊急輸送道路に指定
- 災害時における円滑な救援活動、救援物資輸送の向上など、緊急輸送道路の機能を強化



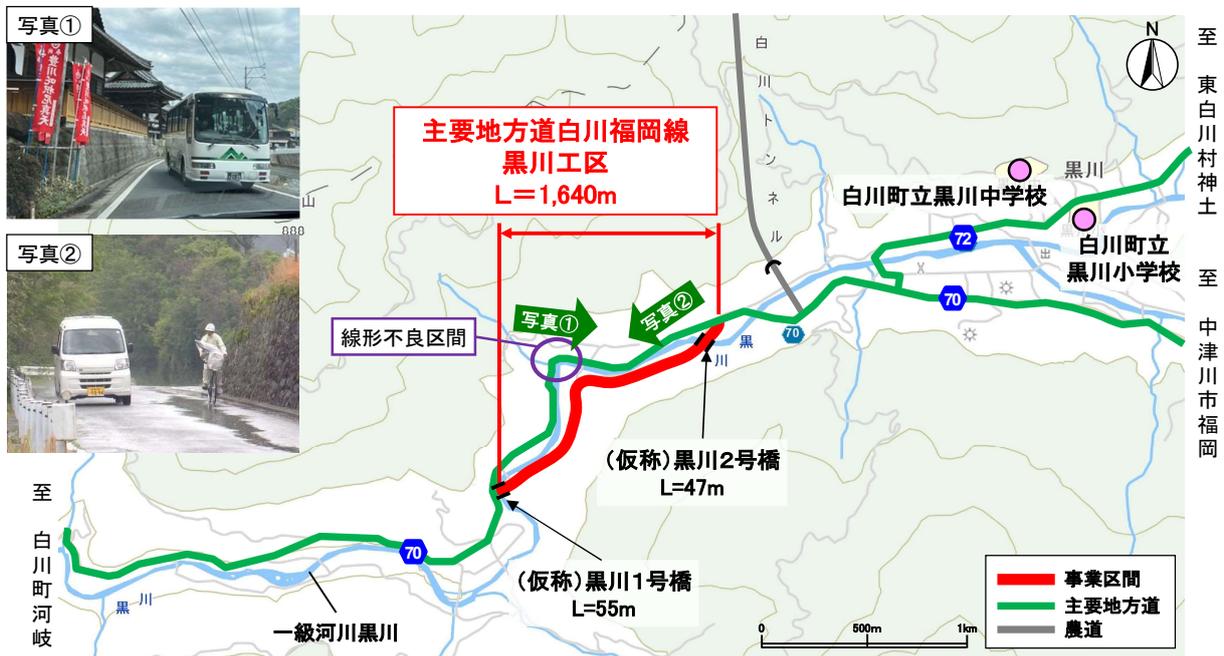
(C)岐阜県

4

# 事業の目的②

安全・安心：隘路・線形不良箇所の解消による円滑な交通の確保

- 幅員狭小区間・線形不良箇所の解消により走行性を向上
- 通学中学生等歩行者の安全性が向上



(C)岐阜県

5

# 事業を巡る社会経済情勢等の変化

## ◆美濃東部広域農道 黒川東白川トンネルの開通

- 美濃東部広域農道は平成24年12月に全線開通
- 農産物流通の効率化、地域の生活道路として重要な役割を持つ路線
- 令和3年4月1日に、みのかも定住自立圏第3次共生ビジョンが策定
- 農道と白川福岡線により「みのかも定住自立圏」の結びつきを強化



美濃東部広域農道  
黒川東白川トンネル(延長2,070m)



- 5つの重点分野
- ①圏域住民の心と体の健康
  - ②今後の圏域を担う未来のヒトづくり(人材育成)
  - ③住民が生活するために必要な移動手段
  - ④いつ発生してもおかしくない大規模自然災害への対策
  - ⑤圏域経済の活性化に働き手として必要不可欠な外国人住民
- ビジョンの期間  
令和3年度～令和7年度  
(5年間)※毎年度見直し



みのかも定住自立圏第3次共生ビジョン

## 事業の進捗状況

全体進捗率 72%※

用地補償進捗率 100%※

工事進捗率69%※



# 事業の施工状況



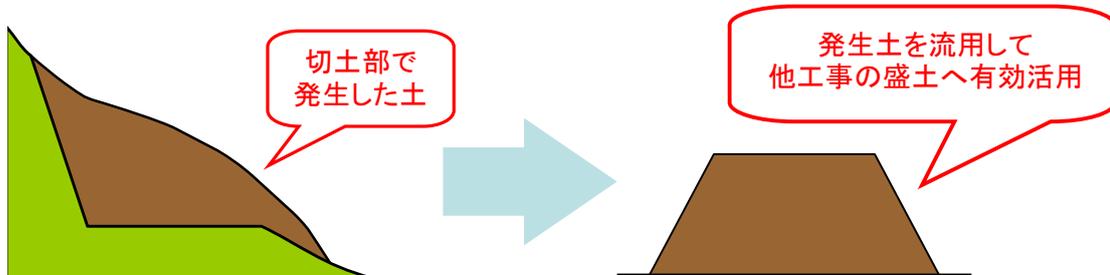
起点側の道路改良工事を実施中

8

## コスト縮減の取り組み

### ◆現場発生土の有効活用

■切土による現場発生土（約1万m<sup>3</sup>）を他工事の盛土部に有効活用することで残土処理費の約4,100万円を削減



コスト縮減額: 約4,100万円

# 自然環境への配慮

## ◆ LED照明の採用による環境への配慮

■長寿命かつ低消費電力であるLED照明を交差点部の新設照明灯に採用し、蛍光灯を用いた場合に比べ環境負荷を低減



10

## 費用対効果分析

### 事業の効果

- 走行時間短縮便益 …… 効果全体の約 71%
- 走行経費減少便益 …… 効果全体の約 26%
- 交通事故減少便益 …… 効果全体の約 3%

### 投資的效果率

$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 1.2 \quad \begin{array}{l} \text{前回再評価時} \\ \text{(R1年度)} \\ 1.2 \end{array}$$

※費用便益分析マニュアル(R5.12 国土交通省)に基づき算出

## 対応方針（案）

○主要地方道白川福岡線の完成は、災害時に有効に機能するネットワークの確保、隘路・線形不良箇所への解消による円滑な交通の確保に寄与する。

○地元住民及び関係自治体からの早期完成の要望がある。



**＝供用に向け、事業を継続＝**

令和6年度第3回  
岐阜県事業評価監視委員会  
費用対効果分析資料

■事業名

道路改築事業 主要地方道白川福岡線 黒川工区

■事業内容

延長L=1,640m、計画幅員W=6.00 (9.75) m

■費用対効果分析結果

区分		前回	今回	備考
		(基準年：R1)	(基準年：R6)	
事業期間		H14～R10	H26～R12	
費用 (億円)	事業費	20.0	27.7	
	維持管理費	0.6	0.7	
	合計 (C)	20.6	28.3	
	効果 (億円)	22.9	23.5	
	走行経費減少便益	2.1	8.4	
	交通事故減少便益	0.1	0.9	
	合計 (B)	25.1	32.8	
費用対効果分析結果 (B/C)		1.2	1.2	

※上記の事業費は、国のマニュアルに基づき社会的割引率を用いて現在価値に換算しているため、実際の事業費と異なる。

■費用対効果分析の分析方法

・費用便益分析マニュアル／国土交通省 道路局 都市局/R5.12

■費用対効果分析結果の要因変化

【費用の主な変化要因】

- ・工事経費率の上昇に伴う増額や労務費・資材費の高騰により事業費が増加した。【2.6億円】
- ・評価基準年の更新により、現在価値化した事業費が増加した。【5.0億円】

【便益の主な変化要因】

- ・使用OD表の変更や便益算定エリア拡大に伴い便益が増加した。【7.2億円】
- ・費用便益分析マニュアルの改訂 (R5年12月) による、時間価値原単位、走行経費原単位、交通事故損失額算定式の変更に伴い便益が増加した。【2.7億円】
- ・評価基準年の更新により、現在価値化した便益が増加した。【5.8億円】
- ・事業期間が延長されたことに伴い便益が減少した。【▲8.0億円】

【費用対効果分析結果の変化】

- ・費用対効果分析結果は、前回の1.2から変化がなく、費用便益比は1を上回っており、十分な事業効果が確保される見通しである。